

JA岐阜厚生連 岐北厚生病院

経鼻内視鏡検診車導入！

(胃カメラ検診車)

1. はじめに

日本で3台目となる経鼻内視鏡検診車が当院に配備されました。

この検診車は、日本宝くじ協会の助成を受け、日本成人病予防会岐阜県支部が整備し、JA岐阜厚生連に管理運営が委託されたものです。



2. 内視鏡検査の死亡率減少効果

胃内視鏡検査は胃がん死亡率減少効果が研究により認められ、国内の研究では胃X線検査（バリウム検査）と比較し、胃内視鏡検査の胃がん死亡率は67%低下するとの発表がなされました。その他にも有益な証拠が認められたことから、胃内視鏡検査は、厚生労働省「がん予防重点健康教育及び健診実施のための指針」(平成28年2月4日改正)にて、胃がん検診の検診項目として位置づけられました。

当院では胃内視鏡検査の優位性から、従前より人間ドックにて胃内視鏡検査を推奨しており、年間約1,500件の検査※を実施しています。(※検診のみの件数です)

3. 経鼻内視鏡検診車導入の経緯

胃がんは早期発見、早期治療を行うことで死亡率の低下が見込めますが、岐阜県の胃がんによる死亡率は、男性は全国平均並みですが、女性が全国ワースト2位※と受診率の向上が望まれます。(※2013年調査)

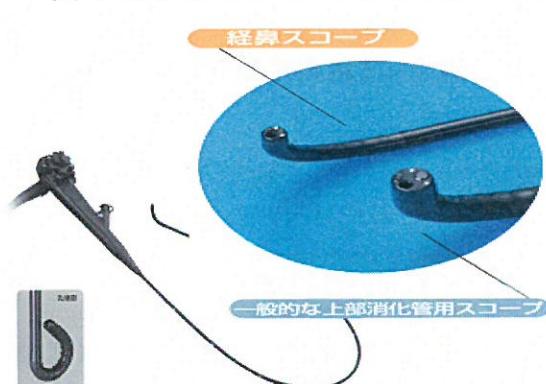
当院は、より多くの方に内視鏡検査を受ける機会を設けることで、がん検診受診率上昇の一助となり、ひとりでも多くの胃がん死亡者を減らしたいと願い導入を決定しました。

4. 最新鋭の装備で、病院内と同等の環境を実現

・最新鋭の経鼻内視鏡を装備

カメラの先端部は5.8mmと大変細く、挿入時の負担が軽いのが特徴です。

病院で検査する場合と同等の環境で、高精度な検査を受けていただくことができます。



実際の検診の様子

富士フィルムメディカル(株) Advancia HD搭載

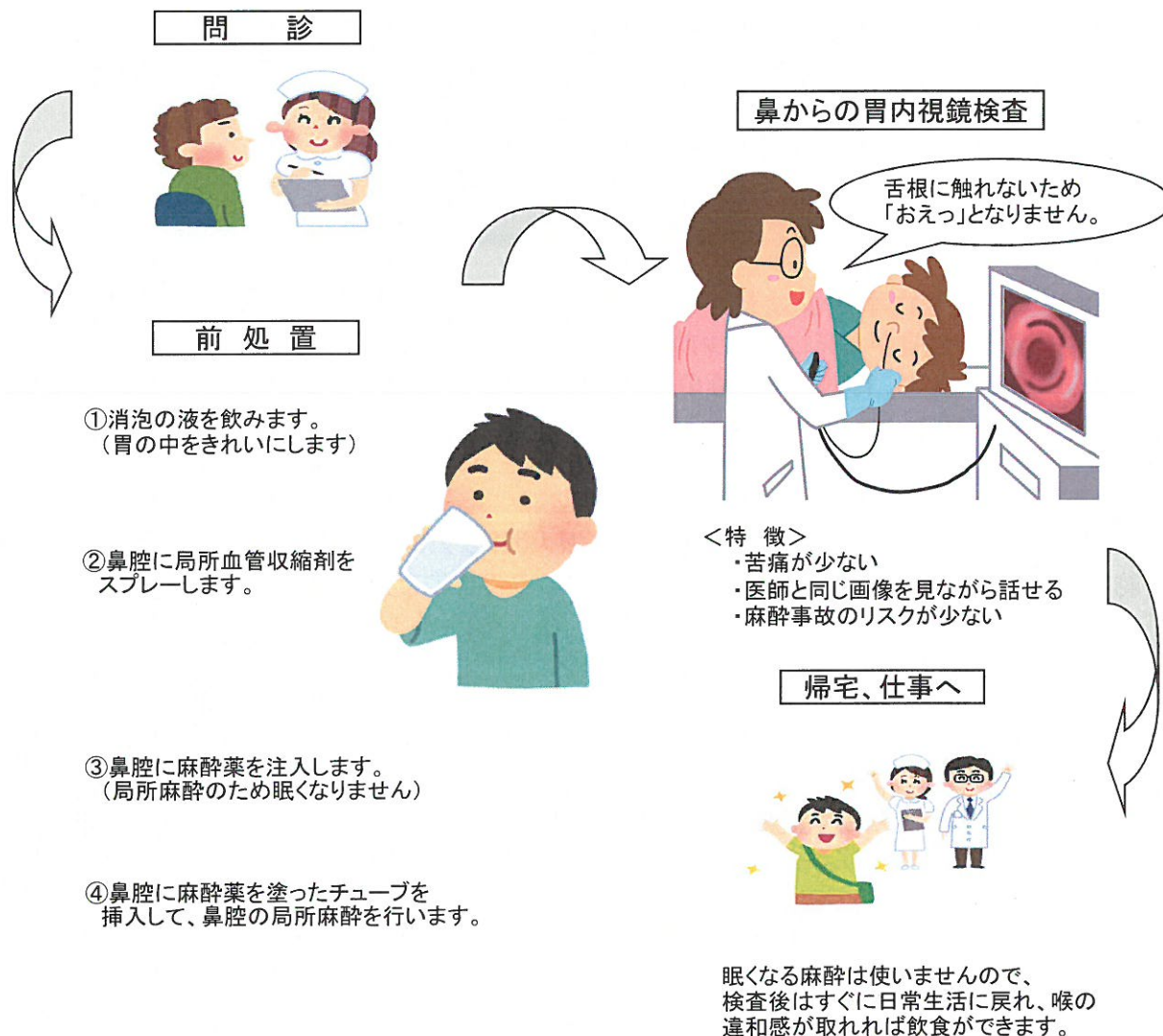
JA岐阜厚生連 岐北厚生病院

5. 経験豊富な専門医による検査と読影

- ・検査は、日本消化器内視鏡学会専門医が行います。
- ・検査医による読影後、別の専門医によるダブルチェックを行い、検査の精度を高めます。
- ・偶発症が発生した場合には最善の対応を行います。
(偶発症:検査の際、たまたま生じる不都合な症状。鼻出血、胃粘膜損傷など)

6. 検査の流れ

問診から検査終了まで約30分程度です。



※生検は行いませんので必要と判断された場合は、後日施設にて精密検査を受けて下さい。
(生検:胃粘膜の採取をして組織診断を行うこと)

7. 経鼻胃内視鏡検診車による検診の実施について

- ・10名以上の実施よりご相談を承ります。
- ・午後からの検査も可能です。

<お問い合わせ>

岐北厚生病院 地域保健課
電話:0581-22-1811(代表)
担当:河野、高木